

令和7年度 小樽市立奥沢小学校 全体懇談会

令和7年4月21日、22日、23日

令和7年度の学校経営の重点

○重点目標

卒業時には、全員が夢をもてるように

「笑顔・学び・夢」 いっぱい 心あったか **興沢の子**

主体的で協働的な学び
自己決定・自己選択の重視
望ましい生活習慣の確立
(体力・健康の増進)

安全・安心な
居場所づくり・絆づくり
自己存在感・自己有用感・
自己肯定感の向上

○めざす子ども像

★深く学び伝え合う子

★なかよくやさしい子

★たくましくやいぬく子

令和7年度 奥沢小学校グランドデザイン

小樽市の教育理念：主体的に学び 小樽の未来を創る 心豊かな人づくり

関係諸法令

日本国憲法

教育基本法

学校教育法

学習指導要領 等



学校の教育目標： **夢**を育む奥沢小学校

【めざす子ども像】

深く学び伝え合う子 なかよくやさしい子 たくましくやりぬく子

【知】

【徳】

【体】

【付きたい資質・能力】

主体的・協働的に学び続ける力 思いやる力 やり遂げる力

関係諸計画

北海道教育推進計画

後志管内教育推進の重点

小樽市教育推進計画

小樽市教育行政執行方針 等

小中一貫教育の目標：自ら学び、よりよく生きる力を持つ児童生徒の育成

めざす子どもの姿から～スタンダード～ 3つの「つ」

自分の言葉で **つたえる** 自ら考え、意見を発信できる
仲間と **つながる** 他を思いやり、多様な考えを受け入れる
ねばり強く **つづける** 困難を乗り越え、たくましく生きる

重点目標：「笑顔・学び・夢」いっぱい 心あったか奥沢の子

目指す学校像

- ◆子どもが主語の学校づくり
- ◆安全・安心で信頼に込める学校
- ◆危機管理体制の充実
- ◆令和の日本型学校教育の推進
- ◆教育の質の向上、業務改善
- ◆小中一貫教育の推進

○主な指標

- ・「学校が楽しい」肯定的回答90%
- ・「将来の夢や目標をもっている」肯定的回答80%

学びに向かう力・人間性

- ◆主体的・協働的に学び力を育む授業改革
- ◆子どもを主語としたUDLの視点から授業づくり
- ◆思いやりの心や自己肯定感を育む道徳教育
- ◆重点「個性の伸長」「相互理解・寛容」
- ◆将来の生きる力につなげるキャリア教育の充実
- ◆健やかな心身の成長を促す教育活動の充実
- ◆教育的ニーズに応じた適切な教育の推進

目指す教職員像

- ◆教育公務員としての自覚と責任
- ◆ほめる、認める、価値付け
- ◆温かな対応と毅然とした態度
- ◆児童・生徒の個性と可能性を引き出す力

教育DXの推進

知識・技能

- ◆「主体的・対話的で深い学び」による学習活動
- ◆学習の見通しとまとめ・振り返りの充実
- ◆端末の有効な活用
- ◆基礎・基本となる学習内容の確実な定着
- ◆指導体制の工夫
- ◆専科教員、ALT、支援員等による継続的な指導
- ◆学習規律と生活規律の一体的な指導
- ◆家庭と連携を図った家庭学習の習慣化

思考力・判断力・表現力

- ◆教科等の「見方・考え方」を基にした探究的学びの充実
- ◆個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ◆端末活用による対話や参照、共同編集等、協働して課題解決を図る意識の醸成
- ◆地域の教育資源（人材・施設）を活用した教育・キャリア教育の充実
- ◆系統性と連続性のある小中一貫教育の推進
- ◆向陽中学校区スタンダード「3つのつ」の定着

協働と共創による学校づくり～学校・保護者・地域の一体的な取組～

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）学校経営に対する熟議・学校計画

～ 保護者・地域住民等による学校支援ボランティアの活動 ～

学校運営協議会

図書ボランティア

安全ボランティア

学習ボランティア

行事ボランティア

グランドデザイン R7重点目標

笑顔・学び・夢

いっぱい

心あったか

奥沢の子

教育DXの推進

「夢をはぐくむ奥沢小学校」の実現

令和7年度の学校経営の重点

学習では…

令和の日本型教育の推進

個別最適な学び

○ICT(端末)の活用を軸として、教師主導の学びから子ども一人一人の主体的な学びへの転換
〔目標(ゴール)に向かい子ども自身の自己決定による学びと教師の適切なサポート〕

協働的な学び

○探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら持続可能な社会の創り手の育成

「主体的・対話的で深い学び」の実現

学習観・授業観
の転換

一体化

令和7年度の学校経営の重点

最重要課題

教育DXの推進

DX(デジタル・トランスフォーメーション)とは、デジタル変革を意味し、教育DXは書類のデータ化のようなデジタル化とは異なり、教育の手法や教員の業務などに変革を起こすこと。その目的は、教育の個別最適化です。平均主義や減点主義の教育から、児童生徒一人一人に合わせた教育を実施することに焦点を当て、集団で行う授業ではなく、個人の習熟度に合わせて最適な教育を提供していく。

一斉指導から個別最適な学びへ

デジタル化を軸とした業務の改善

具体的な行動目標

はあとふる おくさわ

は : はなしをきく
あ : あいさつをする
と : ともだちとなかよくする
ふ : ふるさとをあいする
る : ルールをまもる

あたたかな学校づくり

今年度の教育課程の大きな変更点

- ①評価システムが年3回から年2回へ変更になります。通知表の保護者通信欄がなくなります。

⇒ 7月と12月に全保護者と面談をし、お子様の学習等のこと
をお話します。

- ②教育DXをさらに促進するための授業改善や情報共有・アンケートはTetor(テトル)等の更なる促進を図ります
- ③向陽中との小中一貫教育の取組を更に推進します。

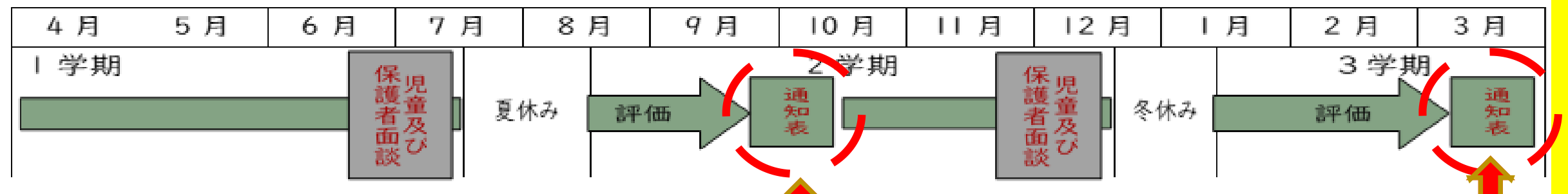
評価システムの改善について

今年度より 通知表の発行を年2回

(旧) 令和6年度まで



(新) 令和7年度



10月及び3月の2回発行

具体的な変更点

- ① 学期制(1学期、2学期、3学期)
これまで通り。長期休業に入る前に、面談などを通して学習や生活のねらいを確認し、有意義に過ごすことができるようにします。
- ② 前期と後期の期間
学習及び評価の期間は、前期が4月から9月、後期が10月から3月です。
前期の通知表は、9月末日を基準日として直近の金曜日に、後期の通知表は3月(修了式)に渡します。
(令和7年度は、前期9月26日、後期3月24日)
※6年生については、卒業式前日(令和7年度3月18日)
- ③ 授業日数や授業時数
これまで通り。慌ただしい学期末(7月・12月)に、長期休業の直前まで授業を行うことができるため、学習内容の確実な定着につなげます。
- ④ 長期休業前に通知表がないことに対する対策
長期休業前に、子どもたちや保護者と面談の機会(7月と12月)を設け、子ども一人一人の学習や生活の様子を、きめ細かく伝えることで、長期休業を有意義に過ごすことができるようにします。

- ⑤ **子どもの学習状況を知る機会の提供**
長期休業前の面談で学習のようすを伝えることにより、これまでの年3回から、今後は年4回(通知表2回、面談2回)お伝えします。
- ⑥ **保護者からの通信欄、確認欄の廃止**
保護者からの通信欄、確認欄をなくします。理由として、面談を実施することで直接保護者の皆様からお子さんの様子を伺うことができること、個人情報漏洩する危険性を減らすためです。
通知表配付に係る連絡はtetoru(テトル)を使用し、確実に保護者の皆様へお知らせします。
- ⑦ **通知表の回収**
通知表は、クリアファイルに入れてお渡し回収しませんので、各ご家庭でファイリングをお願いします。
(1年生から6年生までの通知表を1冊のファイルにまとめることを推奨します。)
※空のクリアファイルは、前期通知表を配付後のみ回収します。後期配付後は回収しません。もし、紛失の場合はご相談ください。
- ⑧ **面談時の資料**
単元テストの状況などをまとめた資料を活用する予定です。ただし、そこで示した評価が通知表の評価と全く同じになるわけではありません。
- ⑨ **行事等の実施時期の変更**
・4月の個人懇談(希望制) ・遠足 10月3日 ・学習発表会 11月1日 ※PTA行事の見直し

令和7年度 向陽中学校地区 の目指す姿

子どもの姿スタンダード：つたえる・つながる・つづける

○自分の言葉で **つたえる**

～自ら考え 意見を発信できる

○仲間と **つながる**

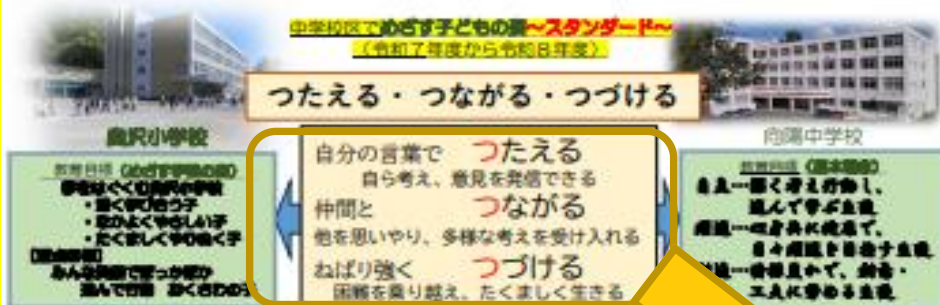
～他を思いやり、多様な考えを受け入れる

○ねばり強く **つづける**

～困難を乗り越え、たくましく生きる



小中一貫



令和7年度～令和8年度研究主題
「主体的に学び、確かな力を発揮できる子どもの育成」
～「主体的・対話的で深い学び」のある授業を通して～

系統性と連続性のある小中一貫教育

育成を目指す3つの資質・能力と具体的方策

つたえる

学びに向かう力・人間性
困難を乗り越え、たくましく生きる

◆9年間で学ぶキャリア教育の充実 ◆小学校職場体験 ◆中学校職場体験



つづける

知識・技能
自ら考え、意見を発信できる
～学びをつなぐ～

- ◆連続性のある教育課程の実施
- ◆連続した学習指導の徹底
- ◆家庭学習の充実
- ◆各種学力調査等の課題分析、共有、学校改善プラン・体力向上プランマネジメントと実践共有
- ◆乗り入れ授業の実施
- ◆体験登校の実施

つながる

思考力・判断力・表現力
他を思いやり、多様な考えを受け入れる
～人と人をつなぐ～

- ◆児童会・生徒会交流
- ◆教職員交流研修会
- ◆部活動見学・体験
- ◆特別支援学級交流
- ◆学校運営協議会と連動した取組

学力向上部会

体力向上部会

児童生徒指導部会

特別支援部会

令和7年度 向陽中学校区 小中一貫グランドデザイン

めざす子どもの姿

○つたえる

○つながる

○つづける



最後に！

保護者の皆様へのお願い

- ・ 登校時刻を守ってください。〔8時15分解錠、25分までに登校〕
欠席・遅刻の連絡も確実にお願いします。
- ・ 登校時間帯の車両の乗り入れは、原則禁止です。校門付近での
停車もご遠慮ください。
登校時は「ココカラファイン」の駐車場をご利用ください。
- ・ お子さんのSNS等の利用については、いじめや犯罪などのトラ
ブルに繋がらないよう、管理の徹底をお願いします。

- ◎ 虐待に関しては、法に則り、疑いも含め学校が知った時点で、速やかに市のこども
家庭センターや児童相談所、警察等の関係機関に相談・通告を行います。
(身体的・性的な虐待のみならず、ネグレクト（育児放棄）やヤングケアラーを
含む)
- ◎ いじめ問題に関しては、法に触れる行為があった等、事案によっては、積極的に警
察との連携を図ります。

保護者の皆様へのお願い

不登校の対応について

- ・欠席が連続する場合には、児童本人と直接合わせもらう必要があります。
- ・連続30日に達した日には、関係機関(小樽子ども家庭センター・SSW等)への相談をすることになります。

小樽市不登校対応マニュアルに基づき対応します。



**今年度もよろしく
お願いいたします**

ご清聴ありがとう
ございました。